

第58期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで


医療と健康をつなぐテクノロジー



2004年
解析付心電計 (FCP-7301)



1939年
国産心電計第1号

 **777電子株式会社**

65th
Anniversary
おかげさまで65周年

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、平成16年9月30日をもちまして、第58期上半期を終了いたしましたので、ここに営業の概況と中間決算のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。

なお、当期の中間配当は日頃のご支援にお応えするため、1株当たりの普通配当金20円、また創業65周年を迎えることができました記念配当金として5円の、合計25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



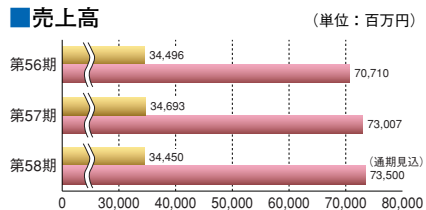
取締役社長

福田 考太郎

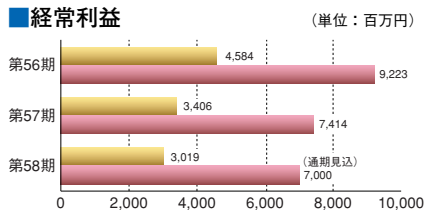
財務ハイライト

● 連結

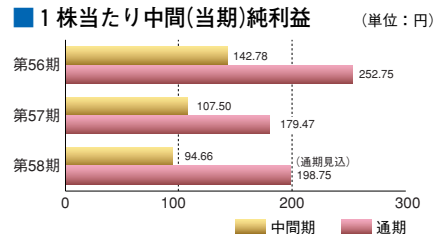
■ 売上高



■ 経常利益

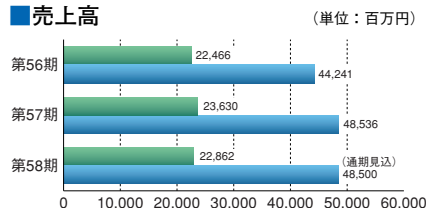


■ 1株当たり中間(当期)純利益

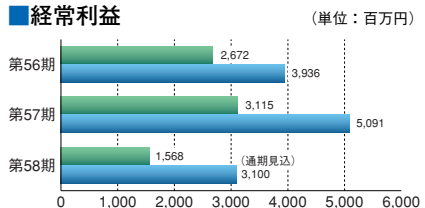


● 単体

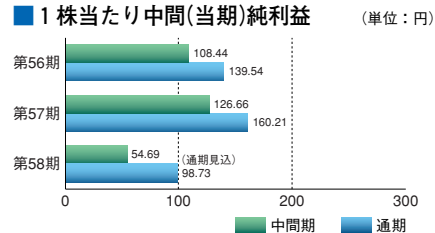
■ 売上高



■ 経常利益



■ 1株当たり中間(当期)純利益



連結営業の概況

平成16年度上半期における日本経済は、個人消費や企業の設備投資が堅調に推移し、景気は回復基調を示しておりますが、自然災害や原油価格の上昇などの不安要素も抱えております。

医療機器業界は、本年4月からの診療報酬・薬価の改定、保険医療材料の公道償還価格引下げ、国立病院の独立行政法人化など、相次ぐ国民医療費抑制政策により医療機関の経営が圧迫され、設備投資が減衰しており、市場では熾烈な価格競争が続いております。

このような厳しい環境の中、当社は強力な販売体制のもと全社をあげて営業活動に努めました。市場競争激化による販売価格の下落が影響し、当中間連結会計期間における連結売上高は前年同期比0.7%減の344億50百万円、経常利益は前年同期比11.4%減の30億19百万円、中間純利益は、前年同期比11.6%減の17億54百万円となりました。

当中間連結会計期間の連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より18億57百万円減少して262億49百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動の結果得られた資金は32億62百万円（前年同期比34.5%減）となりました。これは主に前年同期に比べ売上債権の減少額が大きくなったものの、仕入債務が減少に転じたことおよび訴訟和解金の支払が発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は18億81百万円（前年同期比20.9%減）となりました。これは主に前年同期に比べ有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によりです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動の結果使用した資金は主に短期借入金の返済等が前年同期に比べて多かったことにより32億39百万円（前年同期比71.0%増）となりました。

事業部門別の概況

(1) 生体検査装置部門

生体検査装置部門は、生体機能を示す物理現象を電気信号に変換し、測定記録する心電計、超音波画像診断装置、ポリグラフ、自動血球計数測定装置、呼吸機能検査装置などを主に扱っております。

当中間連結会計期間においては、睡眠時無呼吸症候群の携帯型検査器、自動血球計数測定装置、COPD（慢性閉塞性肺疾患）解析付呼吸機能検査装置などが順調に推移したものの、解析機能付心電計、超音波画像診断装置、血圧脈波検査装置（動脈硬化）、などの売上減少により、連結売上高は前年同期比7.8%減の98億97百万円となりました。

(2) 生体情報モニター部門

生体情報モニター部門は、集中治療室、手術室、病棟などで患者様への生体諸機能情報を長時間にわたってモニターするセントラルモニター、ベッドサイドモニター、医用テレメーターを主に扱っております。

当中間連結会計期間においては、国内、輸出共に販売台数は伸びたものの、厳しい価格競争により売上高は微増に留まりました。その結果、連結売上高は前年同期比3.6%増の23億12百万円となりました。

(3) 治療装置部門

治療装置部門は、心臓に電気的な刺激を与え心停止の蘇生や調律異常を治療するデフィブリレーターやペースメーカー、呼吸不全の患者様への呼吸を補助する人工呼吸器、慢性呼吸不全の患者様に対して家庭で酸素を投与する在宅酸素濃縮器、また血管拡張用、補助循環用などのカテーテルを主に扱っております。

当中間連結会計期間においては、睡眠時無呼吸症候群の治療器、前連結会計年度から取り扱いを始めた在宅人工呼吸器、心突然死疾患への意識の高まりからデフィブリレーターの売上が順調に推移致しましたが、医療機関の設備投資抑制の影響を受け人工呼吸器、本年4月からの償還価格改訂の影響を受けたペースメーカー、カテーテル類の売上高が減少致しました。

また、在宅酸素濃縮器は熾烈な価格競争により、レンタル売上高は減少しました。

その結果、連結売上高は前年同期比0.9%増の123億11百万円となりました。

(4) その他部門

その他部門は、記録紙、ディスプレイ電極や上記各部門の器械装置に使用する付属品および消耗品を主に扱っております。

当中間連結会計期間における連結売上高は前年同期比4.2%増の99億29百万円となりました。

医療機器業界は、引き続き厳しい市場環境が予測されますが、当社は強力な販売体制のもと、性能やコスト競争力の優れた製品の市場投入と、当社の製品をご使用いただく医療機関や患者様への安全性をより重視した製品開発に取組んでまいります。

また、事業の安定した成長を確保するため、海外市場や新規市場の開拓に積極的に取組み、業績の回復と経営基盤の強化に努め、株主の皆様への還元を進めてまいります。

通期の見通しにつきましては、連結売上高は前期比0.7%増の735億円、経常利益は前期比5.6%減の70億円、当期純利益は前期比8.8%増の37億円を見込んでおります。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表 (平成16年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目		科目	
■資産の部		■負債の部	
流動資産	61,045	流動負債	18,616
現金及び預金	26,591	支払手形及び買掛金	10,210
受取手形及び売掛金	17,240	短期借入金	3,701
有価証券	499	一年以内償還予定社債	765
たな卸資産	13,150	未払法人税等	746
繰延税金資産	2,108	賞与引当金	1,586
その他	1,636	新株引受権	24
貸倒引当金	△ 181	その他	1,582
固定資産	29,918	固定負債	4,481
有形固定資産 ※2	14,713	長期借入金	86
建物及び構築物	3,732	退職給付引当金	3,158
機械装置及び運搬具	242	役員退職慰労引当金	1,226
工具・器具及び備品	5,480	その他	11
土地	5,237	負債合計	23,098
建設仮勘定	19	■少数株主持分	
無形固定資産	995	少数株主持分	11
投資その他の資産	14,209	■資本の部	
投資有価証券	5,187	資本金	4,564
繰延税金資産	5,882	資本剰余金	8,883
その他	3,319	利益剰余金	55,553
貸倒引当金	△ 179	その他有価証券評価差額金	686
資産合計	90,964	為替換算調整勘定	3
		自己株式	△ 1,837
		資本合計	67,854
		負債、少数株主持分及び資本合計	90,964

注記事項

1. 手形割引高 267百万円
(輸出手形割引高)
- ※2. 有形固定資産の減価償却累計額 14,169百万円

●中間連結損益計算書

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	
売上高	34,450
売上原価	18,184
売上総利益	16,265
販売費及び一般管理費 ※1	13,163
営業利益	3,101
営業外収益	149
受取利息	5
受取配当金	54
その他の	89
営業外費用	232
支払利息	30
為替差損	76
持分法による投資損失	113
その他の	10
経常利益	3,019
特別利益	103
投資有価証券売却益	69
固定資産売却益	2
保険解約益	31
特別損失	55
固定資産売却損	2
固定資産除却損	11
投資有価証券評価損	12
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	30
税金等調整前中間純利益	3,066
法人税、住民税及び事業税	710
法人税等調整額	599
少数株主利益	1
中間純利益	1,754

注記事項

※1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

貸倒引当金繰入額	75百万円
役員従業員給料手当等	4,881百万円
賞与及び賞与引当金繰入額	1,095百万円
役員退職慰労引当金繰入額	45百万円
退職給付費用	358百万円
減価償却費	370百万円

●中間連結剰余金計算書

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	
■資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	8,684
資本剰余金増加高	
自己株式処分差益	1
新株引受権の行使による新株の発行	198
資本剰余金中間期末残高	8,883
■利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	54,610
利益剰余金増加高	
中間純利益	1,754
利益剰余金減少高	
配当金	461
役員賞与	86
(うち監査役賞与)	(1)
持分法適用会社増加に伴う利益剰余金減少高	257
従業員奨励及び福利基金(注)	5
利益剰余金中間期末残高	55,553

(注) 従業員奨励及び福利基金は、中華人民共和国所在の子会社が当該国の法令に基づいて設定したものであります。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の減少額	1,857
現金及び現金同等物の期首残高	28,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,249

中間単体財務諸表

● 中間貸借対照表 (要旨) (平成16年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目		
■資産の部		
流動資産		47,917
現金及び預金		18,843
受取手形		32
売掛金		16,176
たな卸資産		6,237
その他		7,406
貸倒引当金	△	780
固定資産		32,434
有形固定資産		15,917
無形固定資産		902
投資その他の資産		15,614
投資有価証券		5,223
子会社株式		4,438
その他		7,378
貸倒引当金	△	172
投資評価引当金	△	1,253
資産合計		80,351

科目		
■負債の部		
流動負債		19,533
支払手形		5,140
買掛金		4,099
短期借入金		3,500
預り金		4,196
その他		2,597
固定負債		2,100
退職給付引当金		1,134
役員退職慰労引当金		966
負債合計		21,633
■資本の部		
資本金		4,564
資本剰余金		8,883
利益剰余金		46,421
株式等評価差額金		686
自己株式	△	1,837
資本合計		58,717
負債・資本合計		80,351

● 中間損益計算書 (要旨)

(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目		
営業収益		22,862
営業費用		22,340
営業利益		521
営業外収益		1,152
営業外費用		105
経常利益		1,568
特別利益		184
特別損失		336
税引前中間純利益		1,416
法人税、住民税及び事業税		3
法人税等調整額		399
中間純利益		1,013
前期繰越利益		2,047
子会社との合併による未処分利益受入額		1,839
中間未処分利益		4,900

解析付心電計 FCP-7301



循環器専門医様に限らず、一般内科を始めとするその他の専門医の皆様にも人気が高く、使い易い機能と、ボディサイズを兼ね備えた解析付心電計です。狭心症や心筋梗塞、その他心臓病などの早期発見に活躍します。この1台が、65年間続く心電計の歴史に新たな1ページを刻みます。

フルデジタル超音波診断装置 UF-850XTD



心臓や肝臓、腎臓などの各臓器を身体の外部から超音波をあて、痛みと被爆のおそれのない画像検査をご提供します。独自のフルデジタル技術により、今までにない高精細な画像にて、各種診療領域の超音波診断に幅広くお使い頂けます。

人工呼吸器 Servo s



日本でもっとも愛用されている人工呼吸器サーボベンチレーターシリーズの最新モデルです。豊富な臨床経験に基づいた技術をコンパクトにまとめあげ、集中治療室など重症患者様の呼吸サポートと管理を行います。医療従事者の皆様の期待にお応えするミドルクラスの高性能マシンです。

心臓カテーテル検査装置 MCS-9000



患者様の肉体的負担の少ないカテーテル検査が注目されています。この検査・治療には、多くの心電図や血圧、体温など身体各所の生体情報をきめ細かく計測、管理することが重要です。そのような検査、治療時に威力を発揮する多用途測定記録装置です。

自動血球計数CRP測定装置 FL-278CRP



院内で、血液学と免疫学検査を同時に、スピーディに行える装置です。検査を外部に委託しないため、患者様への早期診断が実現可能で、開業医様のサービス向上にもお役立て頂ける装置です。

PTCAカテーテル Broadlink



生活習慣病として代表される狭心症や心筋梗塞は、心臓に酸素や栄養素を運ぶ重要な血管である冠動脈が狭くなり生じます。PTCAカテーテルは、医師の手法にて大動脈から冠動脈内まで長い管を挿入し、先端を風船のように拡張して血管を内側から押し広げ、血液の流れを正常にします。当製品はこの最先端の治療法に貢献しています。

独自開発のF-XTDテクノロジー搭載、フルデジタル超音波診断装置“Tellus”UF-800XTDシリーズ

「人にやさしい高性能」を実現することが新しいフルデジタル超音波診断装置“Tellus”（テルス）のコンセプトです。当社独自のF-XTDテクノロジー採用により高性能、高機能をコンパクトなボディに凝縮、省スペースにも配慮。扱い易い操作性も魅力です。

独自のF-XTプロセッサーを開発

まず、手掛けたのは、全ての信号処理をハードウェアからソフトウェアに置換え超高速に処理をするため、独自のF-XTプロセッサーを開発。そのプロセッサーを10個使い、データ処理エンジンを構築しました。そしてOS（オペレーションシステム）にも独自Linuxを採用した大変パワフルで柔軟性に富んだユニークな超音波用1ボードコンピュータを作ることができました。

デジタルビームフォーマーの開発

次に*デジタルビームフォーマーの開発です。通常は超音波エコー信号をデジタルに変換する変換器と波形整形ロジックを分離しますが、当機では、それを16チャンネルまとめてシリコンウエハにやき込み1チップ化することにより、高性能、省スペースを実現しました。これは世界初の技術です。

快適な操作性

さらに超音波診断装置用の高輝度LCDディスプレイの採用により、鮮やかできれいな液晶表示が可能に。また、検査手順に沿った操作を可能にするオペレーションパネルを

採用し、頻繁に使うキーは大きく使いやすい位置に配置。立ち上がり時間も早いため、すぐに検査をスタートすることができます。これらスムーズな検査の流れにより患者様への負担も軽減できます。

これからもF-XTDテクノロジーをさらに進化させ、新しい超音波診断の医療応用分野を開拓してまいります。

※デジタルビームフォーマーとは、超音波装置で音の送受信を制御する回路全般を指し、デジタル処理を行うことにより高画質を再現できます。



F-XTプロセッサー



デジタルビームフォーマー
スーパーチップ



操作パネル

“Tellus” UF-850XTD



LCDディスプレイタイプ



CRTディスプレイタイプ

1) 15インチ高輝度LCDディスプレイを採用し、
明るい病棟でもしっかり検査画像を確認できます。
※CRTディスプレイもご用意しております。

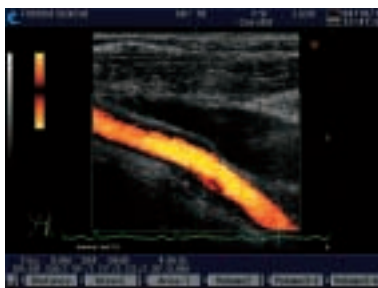
2) ディスプレイ・操作パネルが自在に動き最適な
操作環境を作り出します。

3) 2MHzから14MHzまで各種プローブをご用意。
循環器、一般腹部産婦人科、浅部表在など全領域
の超音波診断が可能です。

4) FDM-ワークステーション：検査画像のデジタルデ
ータの保存、管理、過去データとの比較検討が
容易にできます。オプション搭載により、長時間
リアルタイム動画の保存も可能となります。



超音波プローブ



血管画像データ



腹部画像データ

フィリップスメディカルシステムズ株式会社と販売提携いたしました。

フィリップスメディカルシステムズ株式会社 製品



体外式除細動装置
ハートスタートXL



自動体外式除細動装置
ハートスタートFR2



生体情報モニター
インテリビュー

本年7月、当社とフィリップスメディカルシステムズ株式会社は、除細動器と生体情報モニターの販売について、業務提携をいたしました。

これにより当社の国内120箇所以上にのぼる販売・サービス網と両社の豊富な製品群で各市場において国内トップシェアを目指します。また、今後は世界市場をにらみ、両社の得意とする分野を伸長させる事により他社に対する強力な差別化を図ってまいります。

フクダ電子株式会社 製品



セントラルモニター
DS-7600



ベッドサイドモニター
DS-7001



ベッドサイドモニター
DS-7100

一般市民の除細動器 (AED) 使用が可能になりました

本年7月より、厚生労働省は突然心停止患者に対する救命手段となる、除細動器 (AED) の使用を、従来認められていた医療従事者や航空機乗務員に限らず、一般市民への使用 *(PAD) も認められる事になりました。

AEDとは、(Automated External Defibrillator) の略で自動化された除細動器という意味で、致死性の不整脈である「心室細動」を電気ショックによって正常に戻します。当社は心臓病をお持ちの患者様のお宅への普及を通じて救命率の向上に貢献してまいります。

※PAD：Public Access Defibrillation
公共の場において、一般の人が小型AEDを使用し除細動を行うこと。



AED使用時イメージイラスト

会社概要 (平成16年9月30日現在)

設立年月日	昭和23年7月6日
資本金	45億9,355万円 (平成16年11月30日現在)
営業目的	医用電子機器の製造・販売および輸出入
主な取引銀行	株式会社東京都民銀行 株式会社東京三菱銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社北陸銀行 株式会社UFJ銀行 商工組合中央金庫 住友信託銀行株式会社

役員

代表取締役社長	福高 孝太郎
常務取締役	田橋 隆夫
常務取締役	高橋 輝
取締役	原 木川
取締役	鈴 本
取締役	原 吉
取締役	鈴 潤
取締役	原 芳
取締役	原 鐵
常勤監査役	小 藤
監査役	岡 田
監査役	伊 澤

主な提携・仕入会社

シーメンス社 (ドイツ)
マッケ社 (ドイツ)
セント・ジュード・メディカル社グループ(U.S.A.)
レスピロニクス社 (U.S.A.)
フィリップスメディカルシステムズ株式会社
ソニー株式会社
コニカミノルタグループ
富士通株式会社
株式会社堀場製作所
TDK株式会社
グンゼ株式会社

海外法人

FUKUDA DENSHI USA, INC.
[アメリカ・ワシントン州]
資本金: US\$3,300,000
事業内容: 医療用電子機器開発・製造
出資比率: 100%

北京福田電子医療儀器有限公司
[中国・北京]
資本金: US\$1,400,000
事業内容: 医療用電子機器製造・販売
出資比率: 95%

主な納入先

全国各大学医学部付属病院
官公私立病院
診療所
その他医療機関

フクダ電子グループ

フクダ電子北海道販売株式会社	フクダ電子京滋販売株式会社	フクダライフテック常葉株式会社	フクダライフテック株式会社
フクダ電子北東北販売株式会社	フクダ電子近畿販売株式会社	フクダライフテック関東株式会社	フクダインターベンションシステムズ株式会社
フクダ電子南東北販売株式会社	フクダ電子南近畿販売株式会社	フクダライフテック東京株式会社	フクダメディカルソリューション株式会社
フクダ電子新潟販売株式会社	フクダ電子兵庫販売株式会社	フクダライフテック横浜株式会社	株式会社フクダ電子多賀城研究所
フクダ電子北関東販売株式会社	フクダ電子岡山販売株式会社	フクダライフテック長野株式会社	株式会社フクダ物流センター
フクダ電子西関東販売株式会社	フクダ電子四国販売株式会社	フクダライフテック北陸株式会社	フクダ電子技術サービス株式会社
フクダ電子南関東販売株式会社	フクダ電子広島販売株式会社	フクダライフテック中部株式会社	株式会社フクシン
フクダ電子東京販売株式会社	フクダ電子西部北販売株式会社	フクダライフテック関西株式会社	株式会社エムイータイムス
フクダ電子東京西販売株式会社	フクダ電子西部南販売株式会社	フクダライフテック南近畿株式会社	
フクダ電子神奈川販売株式会社	フクダライフテック北海道株式会社	フクダライフテック兵庫株式会社	
フクダ電子長野販売株式会社	フクダライフテック北東北株式会社	フクダライフテック中国株式会社	
フクダ電子北陸販売株式会社	フクダライフテック南東北株式会社	フクダライフテック四国株式会社	
フクダ電子中部販売株式会社	フクダライフテック新潟株式会社	フクダライフテック九州株式会社	

●株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
利益配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基 準 日	毎年3月31日
	そのほか、必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞
貸借対照表および 損益計算書掲載の ホームページアドレス	http://www.fukuda.co.jp
1単元の株式の数	100株
名 義 書 換 代 理 人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417 (24時間対応) (その他のご照会) 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店



医療と健康をつなぐ
テクノロジー

フクダ電子株式会社

本社 東京都文京区本郷3-39-4 TEL(03)3815-2121(代)

ホームページ

<http://www.fukuda.co.jp/>